



# × 盛和塾

赤い羽根  
福祉基金

京セラ株式会社の創業者である稲盛和夫氏の私塾「盛和塾」の塾生の皆さまからのご寄付を財源として、2018年度「盛和塾 社会人定着応援プログラム」を創設、児童養護施設の退所者に対する助成事業を行っています。

これは、盛和塾からのご寄付を赤い羽根福祉基金で受け入れるにあたって、稲盛和夫氏がこれまでに取り組まれてきた児童養護施設の設立や、稲盛福祉財団による支援といった、社会的養護が必要な子どもたちのための活動の想いを受け、児童養護施設の退所者で、高校卒業後自活しながら学び続け、就職して社会に出ようとするとする若者への支援活動をプログラミングしたものです。

高校卒業後に大学等に進学して、自活しながら勉強を続ける退所者は、親からの支援は期待できず、未成年で自立

### Voice

（助成を受けた対象者の声から）

家庭の事情で児童養護施設に入所し、その後専門学校への進学は精神的にも経済的にも思っていた以上にしんどかったです。学費以外にも予想していなかった出費が続く、この様な支援をして頂けることはありがたかったです。

することが求められます。

しかし、就職活動の時期には、アルバイトもままならず、生活費にも事欠くことが多いなか、就職活動に必要なスーツや靴の購入費、旅費を捻出しなければなりません。

そこで2018年度は、「就職活動応援助成」プログラムとして、63名の応募者に対して、一人あたり10万円の助成を行いました。

また2019年度からは、就職活動応援助成とともに、児童養護施設を退所して大学や専門学校等で学ぶ者の国家資格等取得を支援するための費用を助成する「手に職つけよう応援助成」と、児童養護施設等の退所者で、一度就職したものの、なんらかの事情で離職せざるを得なくなった者の再就職に向けた伴走支援「リスタート応援モデル助成」を実施します。

「盛和塾 社会人定着応援プログラム」の取り組み

2018年度ご寄付額・7,930,215万円 63名の児童養護施設退所者を支援

## 赤い羽根福祉基金 冠基金の報告

赤い羽根福祉基金では、企業・団体等から寄付をいただき、その名を冠した「冠基金」のプログラムにより特定の社会課題を解決する団体へ助成する事業を行っています。

2018年度は2つの冠基金を新設し、最先端の社会課題に取り組み活動の助成プログラムを行いました。

## 赤い羽根福祉基金事業の取り組み

### 第3回助成授与式の開催

(2018年4月24日開催)

第3回助成授与式を開催し、助成決定団体29団体へ助成決定証書の授与をいたしました。また、助成先団体と運営委員、審査委員による懇談の場を設け、赤い羽根福祉基金のネットワークづくりを図りました。



助成決定団体の皆様と運営委員、審査委員

### 2018年度赤い羽根福祉基金助成事業報告会

(2018年12月20日開催)

本基金助成先29団体が参加し、団体同士の情報交換や取り組みを共有することを目的に、さまざまな主体とネットワークを構築している取り組み事例を紹介し、事業成果の発信について考える機会を設け、助成先団体間による交流を行いました。



助成事業の取り組み事例紹介



助成先団体による事業成果の発信を考えるワークショップ

## アサヒ飲料株式会社

### 「こどもたちの明るい未来づくり基金×赤い羽根福祉基金」の取り組み

2018年度ご寄付額・2,596万円 142か所のこども食堂、5か所のネットワークを支援

アサヒ飲料株式会社（代表取締役社長・岸上克彦氏）では、毎年、社員参加による同社主力商品「三ツ矢サイダー」・「カルピス」の店頭を中心とした販促活動として「三ツ矢の日」、「カルピス」の誕生日の全社運動を実施しています。

2018年度の全社運動は、社会貢献の要素をもたせた全国的なキャンペーンとして展開することとなり、運動期間中の売上げの一部をご寄付いただき、「こどもたちの明るい未来づくり基金」として支援が行われました。

ご寄付総額は2,596万円に及び、全都道府県の共同募金会を通じて、全国142か所のこども食

堂、及びこども食堂の安定的運営に必要とされる各地域における組織間のネットワーク確立に助成され、運営基盤の整備と継続的な運営のために役立てられました。

またあわせて、同社商品の寄付も行われ、「三ツ矢サイダー」・「カルピスウォーター」を囲んで、全国のこども食堂にこどもたちの明るい声が響き渡りました。

同社には、ナショナルブランドとしての「三ツ矢」・「カルピス」による社会貢献の取り組みを行うにあたって、全国すべての都道府県・市区町村に協力組織のある赤い羽根福祉基金を評価いただき、協働することができました。

同社には、地域に必要とされるこども食堂に適切に助成が実施されたことを評価いただいております。2019年度も継続して冠基金を設置していただいております。



#### Voice

常連の子どもたちはほとんどひとり親家庭であり、家庭に困難な課題を抱えたこどもたちであることに気がつきました。そこで、家庭まるごとで関わりを深める活動として実施しています。  
（助成を受けたこども食堂の活動者の声から）

## 「赤い羽根福祉基金」運営委員会・審査委員会 委員名簿

### 「赤い羽根福祉基金」運営委員

(敬称略)

	氏名	役職
委員長	齋藤 十郎	社会福祉法人中央共同募金会 会長
委員長代理	上野谷 加代子	同志社大学大学院 社会学研究科 教授
委員	後藤 順子	デロイト トーマツ グループ 及び 有限責任監査法人トーマツ ボード議長
委員	金田 晃一	株式会社NTTデータ 総務部社会貢献推進室 シニア・スペシャリスト
委員	西田 修一	ヤフー株式会社 執行役員・SR推進統括本部長
委員	野崎 吉康	社会福祉法人全国社会福祉協議会 常務理事 中央共同募金会理事
委員	二宮 雅也	損害保険ジャパン日本興亜株式会社 取締役会長 中央共同募金会理事

### 「赤い羽根福祉基金」審査委員

(敬称略)

	氏名	役職
委員長	和田 敏明	ルーテル学院大学 名誉教授
副委員長	永井 美佳	社会福祉法人大阪ボランティア協会 事務局長
委員	天野 珠路	鶴見大学 短期大学部保育科 教授
委員	石井 淳子	元 厚生労働省 社会・援護局長
委員	諏訪 徹	日本大学 教授

2019年3月31日現在